

2017年9月22日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報

リオ市南部『ホシーニャ（国内最大のスラム街）』で銃撃戦が発生（本日）

9月22日（金）、リオ市南部『ホシーニャ・スラム街』で銃撃戦が発生しています。

1 発生日時

9月22日（金）午前9時30分頃

2 発生場所

リオ市南部『ホシーニャ・スラム街（Rocinha）』

3 発生状況

- （1） 22日午前9時30分頃からリオ市南部に位置する『ホシーニャ・スラム街』周辺において、同スラム街を包囲しているリオ州軍警察機動隊等と麻薬密売組織との間で銃撃戦が断続的に発生しています。
- （2） この銃撃戦により、同スラム街を根城としている麻薬密売組織の構成員が周囲に逃走している模様です。
- （3） リオ市は、同スラム街周辺の『ラゴアバーハ自動車専用道路（Autoestrada Lagoa-Barra）』や『ズズ・エンジェル・トンネル（Túnel Zuzu Angel）』の通行止めを報じており、ガベア（Gávea）においてバス1台が放火されるなど、同スラム街周辺において混乱が生じています。

4 当館から

- （1） 今後も、同スラム街における断続的な銃撃戦が予想されます。また、リオ市南部へ大量に流れ込んできていると見られる麻薬密売組織の構成員が南部地区に潜伏している可能性が否めません。
- （2） 当地において、麻薬密売組織間の抗争時に使用される小銃は、射程数百メートル以上のものが一般的で、流れ弾の危険性が多分にあります。
- （3） 週末における同スラム街周辺への通行を控えるとともに、リオ市南部及び南西部間における移動も極力控えるようにして下さい。